

鉄筋先組工法「鉄筋ジャバラユニット工法」の普及を目指すジャバラユニット協会の設立式が1月30日に福岡市内のホテルで開かれた。理事長には工法を開発した柳井通商（福岡市）の柳井扶美代表が就任。新規会員3社を含む29社でスタートし、今後、会員の増強を目指す。

同工法は、鉄筋工事の柱・梁・壁・スラブなどの各部位を特殊なゴム付き結束線により工場



## ジャバラユニット 普及目指し協会設立

で先組みし、ユニット化する。折りたたんで省スペースで運搬でき、現場では元の形状に復元し、そのまま取り付けられる。工場製作による品質の安定化、施工現場の省力化による工期の短縮、危険な高所作業の軽減などによる安全性の向上などが期待される。

これまで、開発した柳井通商の特約店会制度として各地区会員（原則各都道府県1社）で活動してきたが、工法の普及促進を図るため、地区制限をなくし1月1日付で協会を設立した。設立式で、柳井理事長は建設業の2024年問題などに触れ、「工法が必要とされている

と実感し、大きな使命感を抱いている。協会員の生産性向上に貢献して鉄筋業界の発展の役に立ち、そして共存共栄の志で皆さんと共に進んでいきたい」と述べた。写真。

この後、事務局長に就いたタインッセイの池田洋一代表、理事らのあいさつ、会員の施工状況の報告などがあった。

協会は、施工マニュアルの作成や施工指導、営業サポートなどを水平展開し、工法の普及に取り組む。協会は柳井通商内に事務所を置く。問い合わせは電話092-720-8715、電子メールinfo@jabara-unit.com

